

1 実態調査の概要

(1) 調査対象者

調査対象者は、平成18年10月1日現在において、ビール又は発泡酒の製造免許を有する酒類製造業者とする。ただし、次に掲げる者を除く。

イ 試験製造免許者

ロ アサヒビール株式会社、オリオンビール株式会社、麒麟麦酒株式会社、サッポロビール株式会社及びサントリー株式会社

なお、調査対象期間中に、ビール・発泡酒の製造及び移出の事績がない者及びビール・発泡酒の売上げがない者については、調査票の提出を要しないこととしている。

(2) 調査対象期間

平成17事業年度は、法人については平成18年10月1日直近終了事業年度分(1事業年度が6か月の場合は2事業年度の合計)、個人については平成17年分(平成17年1月1日から同年12月31日)を対象とした。

なお、調査対象期間中に企業合同又は法人成等により企業組織が変更している場合には、企業合同前の全企業の事績又は組織変更前の事績を含めた1年分としている。

2 調査結果の概要

I ビール製造業

(1) 製造業者数

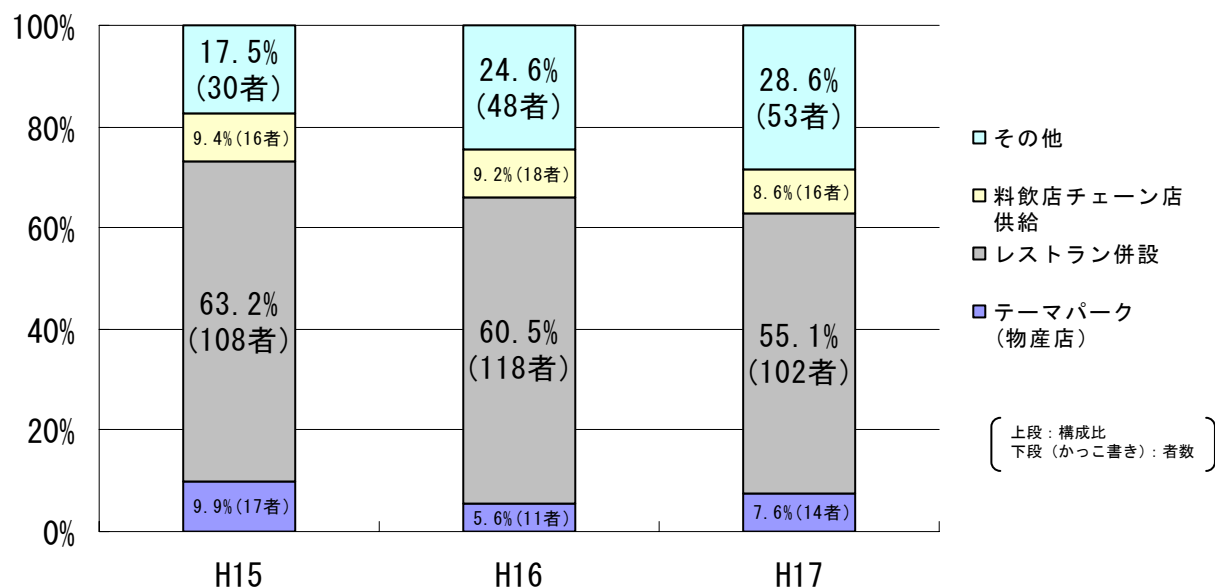
平成17事業年度の調査対象者数は224者、回答者数は185者(82.6%)であり、このうち179者(96.8%)が中小企業者(※1)である。

販売形態別ではレストラン併設形態が102者(55.1%)と最も多く(図表1)、専業割合別では専業割合(※2)10%未満の者が79者(42.7%)であり(図表2)、製成数量規模別では法定製造数量60klに満たない者が123者(66.5%)となっている(図表3)。

(※1) 資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう。

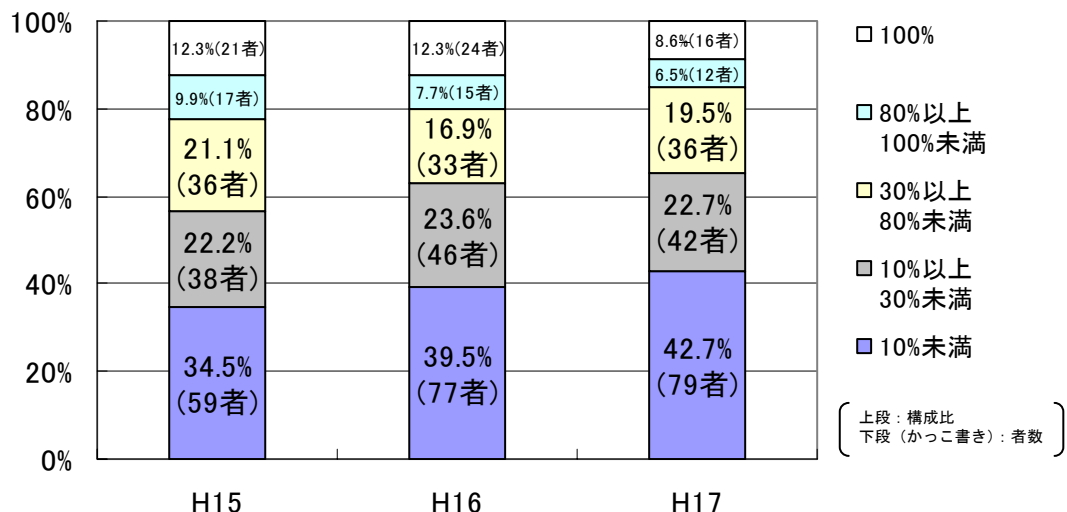
(※2) 総売上高に占めるビール部門の売上高の割合である。

図表1 販売形態別構成比

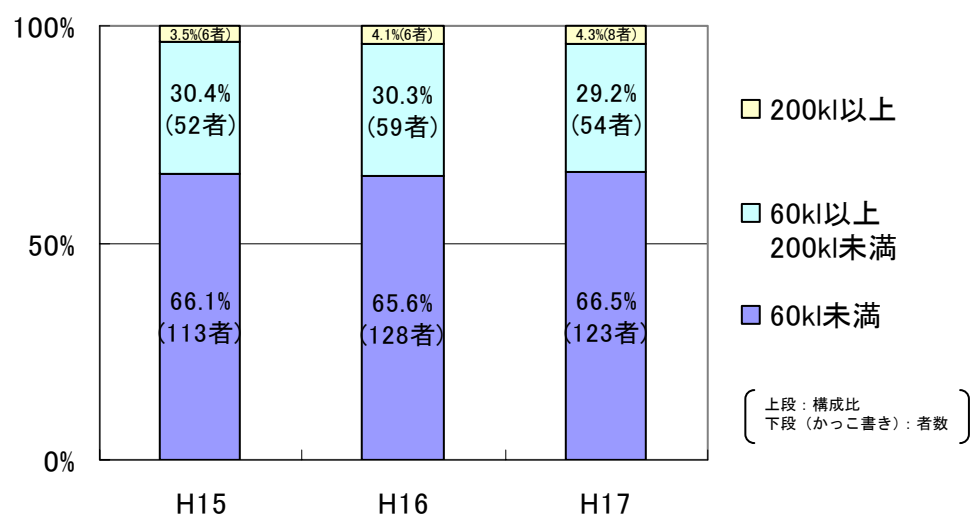


(注) その他の販売形態には、主なものとして酒類卸売業者に販売している者が含まれる。

図表2 専業割合別構成比



図表3 製成数量規模別構成比



(2) 経営状況

平成17事業年度のビール事業の売上高の合計額は、10,730百万円（1企業当たり58.0百万円）であり、平成16事業年度の10,046百万円（1企業当たり51.5百万円）に比べ、1企業当たりの売上高が約6.5百万円（12.6%）増加している。

営業利益の合計額は153百万円（1企業当たり80万円）であり、平成16事業年度と比較してほぼ横ばいとなっている。

図表4 経営状況

（単位：百万円）

区 分	売 上 高	売上原価	売上総利益	販 管 費	営業利益
H15	(51.6) 8,823	(30.8) 5,262	(20.8) 3,561	(22.2) 3,789	(△1.3) △ 227
H16	(51.5) 10,046	(31.3) 6,025	(20.8) 3,994	(20.5) 3,804	(0.8) 155
H17	(58.0) 10,730	(30.8) 5,692	(26.0) 4,803	(21.6) 3,998	(0.8) 153

（注）かっこ書は1企業平均値である。

販売形態別の1企業当たりの経営状況は、平成16事業年度と比較して、レストラン併設形態では営業利益が減少したほか、テーマパーク形態では営業利益が増加、料飲店チェーン店供給形態では営業損失が減少している。

図表5 1企業当たり販売形態別経営状況

(単位:百万円)

区分	テーマパーク（物産店）					レストラン併設				
	H15	H16		H17		H15	H16		H17	
			対前年比		対前年比			対前年比		対前年比
売 上 高	48.4	46.4	95.9%	51.5	111.0%	45.7	44.1	96.5%	45.3	102.7%
売 上 原 価	22.2	23.4	105.4%	22.8	97.4%	25.0	21.6	86.4%	22.3	103.2%
売上総利益	26.1	23.0	88.1%	28.7	124.8%	20.7	22.5	108.7%	24.9	110.7%
販 管 費	18.5	10.4	56.2%	14.7	141.3%	22.6	20.0	88.5%	20.3	101.5%
営 業 利 益	7.4	11.3	152.7%	18.3	161.9%	△1.9	2.3	—	1.5	65.2%
区分	料飲店チェーン店供給					その他				
	H15	H16		H17		H15	H16		H17	
			対前年比		対前年比			対前年比		対前年比
売 上 高	80.1	71.5	89.3%	128.1	179.2%	59.4	63.4	106.7%	64.9	102.4%
売 上 原 価	60.9	54.1	88.8%	93.5	172.8%	40.3	46.8	116.1%	37.8	80.8%
売上総利益	19.2	17.4	90.6%	40.5	232.8%	19.1	16.1	84.3%	29.2	181.4%
販 管 費	25.7	22.0	85.6%	39.2	178.2%	20.6	19.5	94.7%	34.9	179.0%
営 業 利 益	△6.6	△4.5	—	△0.2	—	△1.5	△3.4	—	△3.9	—

(注) その他の販売形態には、主なものとして酒類卸売業者に販売している者が含まれる。

製成数量規模別の1企業当たりの経営状況は、平成16事業年度と比較して、60kl以上200kl未満の階層で営業利益が増加しているものの、200kl以上の階層では営業損失が増加している。

図表6 1企業当たり製成数量規模別経営状況

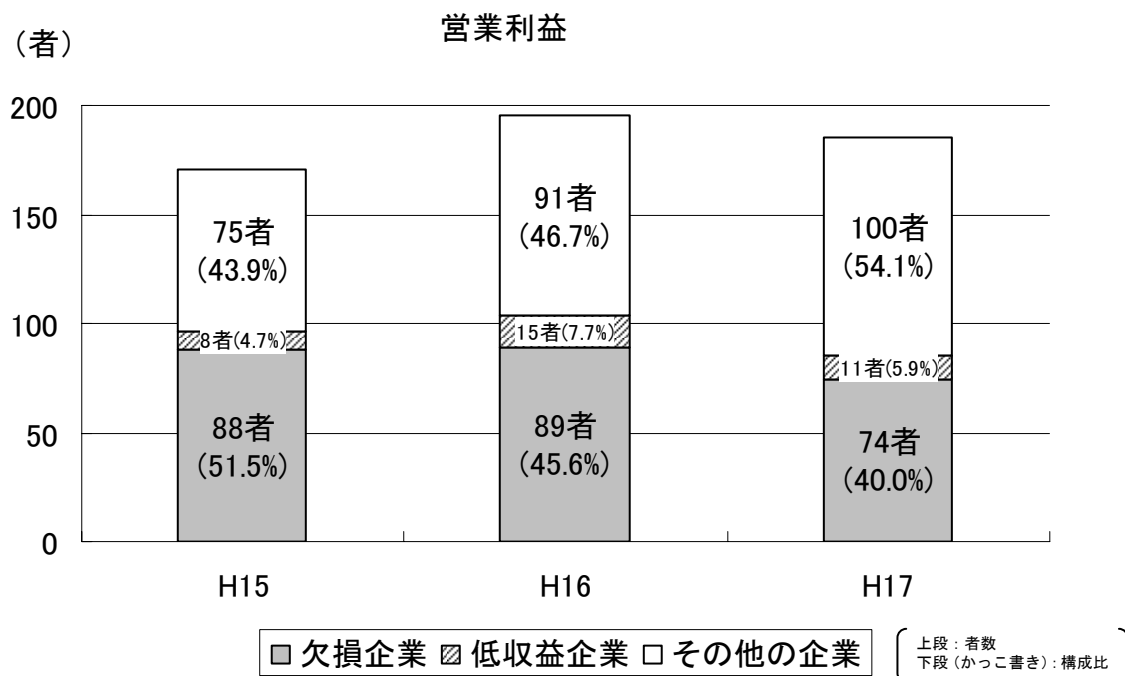
(単位:百万円)

区分		H15	H16		H17	
			対前年比		対前年比	
60 kl 未 満	売 上 高	27.9	23.2	83.2%	26.2	112.9%
	売 上 原 価	15.5	13.4	86.5%	14.4	107.5%
	売 上 総 利 益	12.4	9.7	78.2%	12.3	126.8%
	販 管 費	15.0	11.3	75.3%	12.3	108.8%
	営 業 利 益	△2.6	△1.9	—	△2.0	—
60 kl 以 上 200 kl 未 満	売 上 高	69.4	71.5	103.0%	77.0	107.7%
	売 上 原 価	41.4	38.5	93.0%	41.6	108.1%
	売 上 総 利 益	28.0	33.0	117.9%	36.9	111.8%
	販 管 費	27.8	25.6	92.1%	33.1	129.3%
	営 業 利 益	0.2	7.4	3700.0%	9.6	129.7%
200 kl 以 上	売 上 高	343.4	356.1	103.7%	430.6	120.9%
	売 上 原 価	225.9	255.6	113.1%	240.7	94.2%
	売 上 総 利 益	117.5	100.6	85.6%	189.9	188.8%
	販 管 費	108.3	105.9	97.8%	187.0	176.6%
	営 業 利 益	9.2	△5.3	—	△16.5	—

営業利益規模別では、ビール事業の営業利益が50万円以上の企業の割合が54.1%に増加し、過半数を占めた(図表7)。

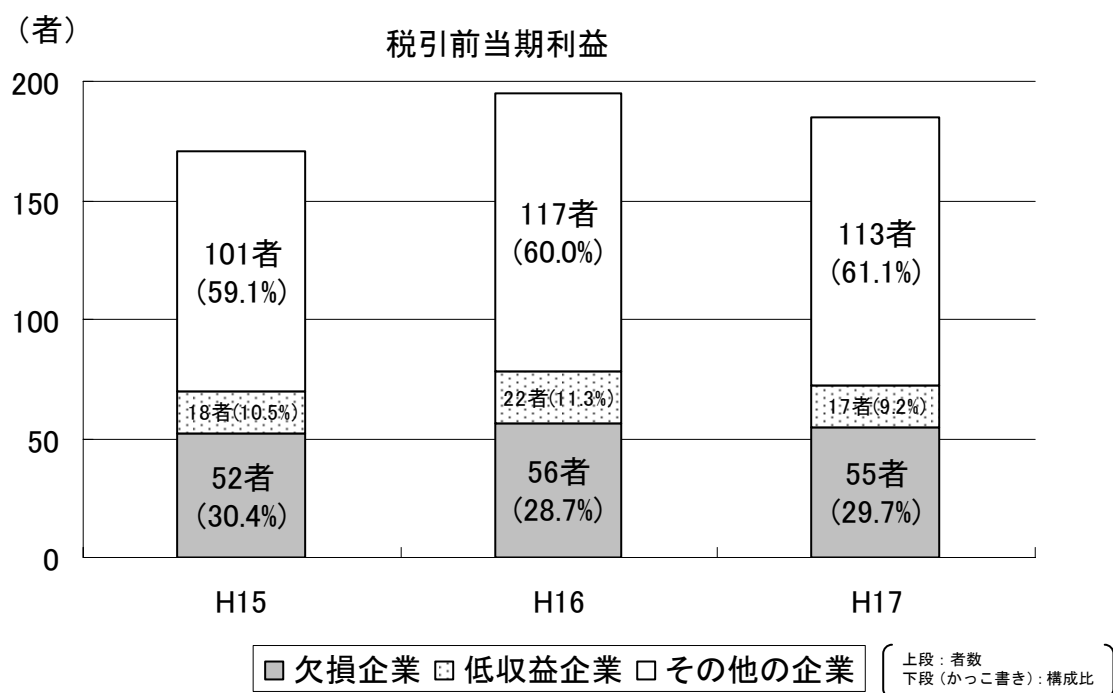
(※3) 低収益企業とは、利益額が0円から50万円未満の企業をいう。以下同じ。

図表7 ビール事業の営業利益等の状況



ビール事業を含めた企業全体の税引前利益からみた場合には、平成16事業年度と比較して、収益企業の割合が減少し、欠損企業の割合及び欠損・低収益企業以外の割合が微増となっている(図表8)。

図表8 企業全体の税引前利益等の状況

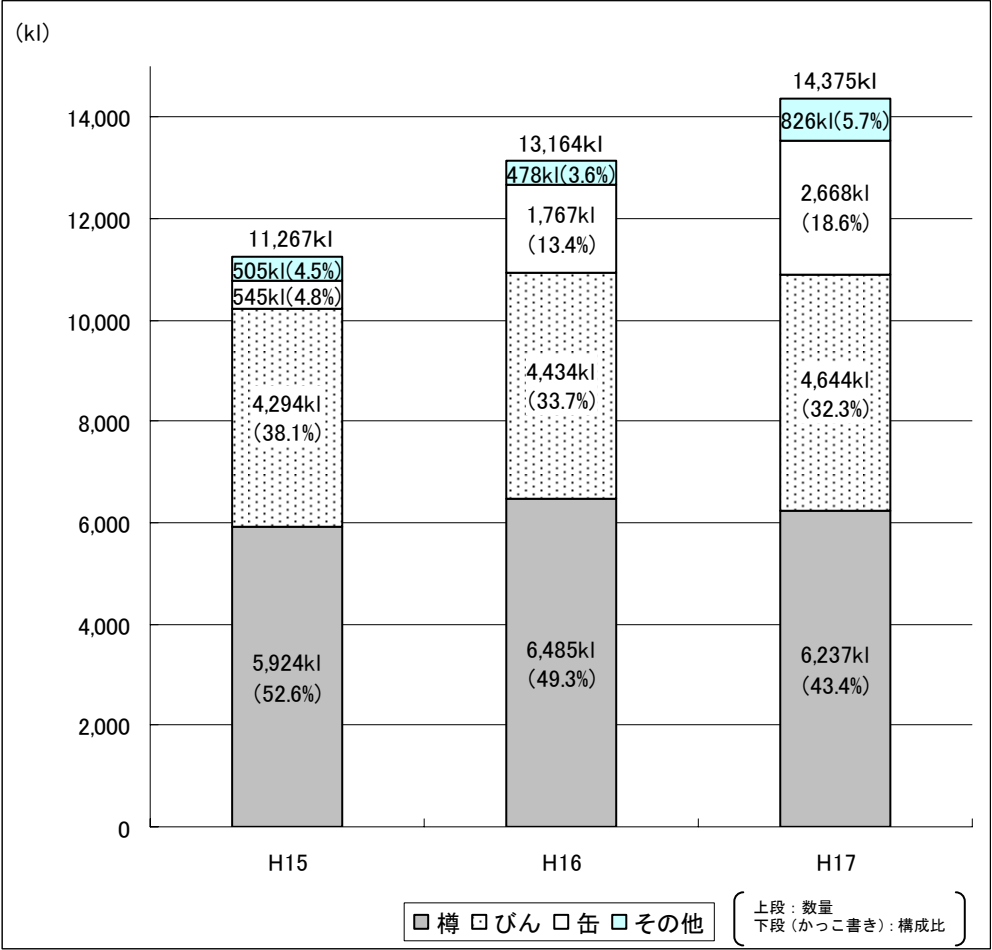


(注) その他の事業部門を含めた事業全体に係る計数である。

(3) 容器別販売状況

樽とびんの合計が全体の75%以上を占めている。また、平成16事業年度と比較して、樽製品及びびん製品の割合が減少し、缶製品及びその他の製品の割合が増加している(図表9)。

図表9 容器別販売数量

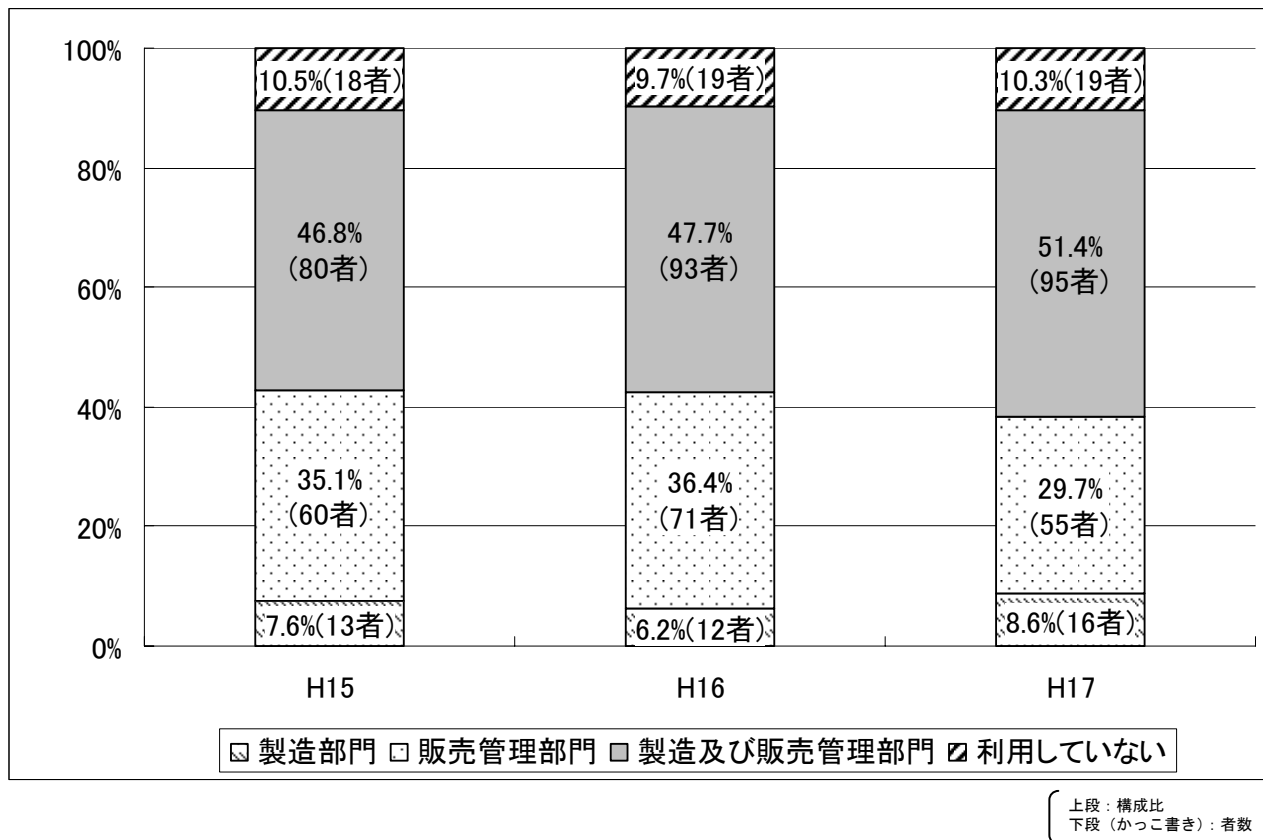


(4) 情報化の状況

コンピュータの利用状況は、製造及び販売管理部門で利用している者が最も多く、51.4%である(図表10)。

ホームページは、89.7%の者が開設している(図表11)。

図表10 コンピュータの利用状況



図表11 ホームページ開設の有無

